

解答プリント「中学1年理科・第2分野」

■補充プリント

単元:8 火山と地震

【評価の観点】 ㊦：思考・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

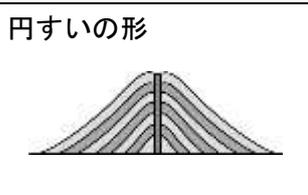
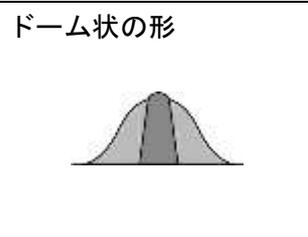
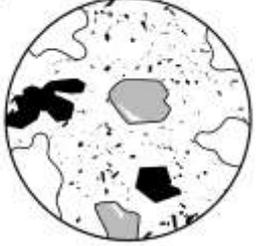
解答例	解説															
<p>1 ㊦ (1) ようす：ア, ねばりけ：ウ, 色：カ</p> <p>㊦ (2) ようす：イ, ねばりけ：エ, 色：オ</p> <p>㊦ (3) ア</p>	<p>1 火山の形</p> <p>傾斜がゆるやかな形</p>  <p>円すいの形</p>  <p>ドーム状の形</p> 	<p>噴火のようす</p> <p>おだやか</p> <p>↑</p> <p>↓</p> <p>激しい</p>	<p>マグマのねばりけ</p> <p>小さい</p> <p>↑</p> <p>↓</p> <p>大きい</p>	<p>主な火山噴出物</p> <p>黒っぽい溶岩 火山灰</p> <p>灰色の溶岩 火山灰</p> <p>白っぽい溶岩 火山灰</p>												
<p>2 ㊦ (1) X 石基 Y 斑晶</p> <p>㊦ (2) 斑状組織</p> <p>㊦ (3) エ</p> <p>㊦ (4) 等粒状組織</p>	<p>2 形がわからないほど小さな結晶 (石基) A</p> <p>比較的大きな鉱物 (斑晶)</p> <p>斑状組織 (石基と斑晶のある岩石のつくり)</p>  <p>等粒状組織 B</p> <p>大きな鉱物が組み合わさっている</p>  <table border="1" data-bbox="655 1641 1382 1933"> <thead> <tr> <th></th> <th>等粒状組織</th> <th>斑状組織</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できる場所</td> <td>地下深く</td> <td>地上や地表付近</td> </tr> <tr> <td>冷え方</td> <td>長い時間をかけて冷える</td> <td>急に冷える</td> </tr> <tr> <td>結晶の成長</td> <td>結晶が成長していない (石基と斑晶)</td> <td>結晶が成長している (大きな鉱物)</td> </tr> </tbody> </table>					等粒状組織	斑状組織	できる場所	地下深く	地上や地表付近	冷え方	長い時間をかけて冷える	急に冷える	結晶の成長	結晶が成長していない (石基と斑晶)	結晶が成長している (大きな鉱物)
	等粒状組織	斑状組織														
できる場所	地下深く	地上や地表付近														
冷え方	長い時間をかけて冷える	急に冷える														
結晶の成長	結晶が成長していない (石基と斑晶)	結晶が成長している (大きな鉱物)														
<p>3 ㊦ (1) 震源</p> <p>㊦ (2) 震央</p> <p>㊦ (3) 初期微動</p> <p>㊦ (4) 主要動</p>	<p>3 (1)(2)</p> <p>震源 地下の地震が発生した場所</p> <p>震央 震源の真上の地表の位置</p> <p>(3)(4) 地震のときには、最初にカタカタと小さなゆれ (初期微動)</p>															

図 (5) 震度

図 (6) 断層

を感じ、次にユサユサと大きなゆれ（主要動）を感じる。

(5) 震度 地震によるゆれの大きさ

地震計には記録されるが体感のない「震度 0」から、意思どおりに行動できず、家屋の倒壊^{とうかい}や高速道路などの破壊が起こる「震度 7」までの 10 段階に分けられている。なお、震度 5 と 6 には「強」と「弱」がある。

マグニチュード 地震のエネルギーの大きさ（地震の規模）を表す。

(6) 力のはたらく向きによって、正断層・逆断層・横ずれ断層ができる。